

平成30年1月15日

No.338

畜産会 経営情報

主な記事

- ① おらが故郷の経営自慢
家族と牛のしあわせを目指して
農林水産大臣賞／牧舎みねむら(肉用牛一貫経営・長野県東御市) 加藤 哲 宏
- ② 畜産学習室
畜産経営者のための青色申告の手引き 改訂のポイント
森 剛 一
- ③ 行政の窓
「平成28年度牛乳・肉用牛・肥育豚生産費」を公表
農林水産省大臣官房統計部
- ④ (独)農畜産業振興機構からのお知らせ
肉用牛肥育経営安定特別対策事業(牛マルキン)の補填金単価(概算払)について
- ⑤ あいであ&アイデア
もみ米サイレージの水分率安定と長期保存方法
丹 康 之

公益社団法人 中央畜産会

〒101-0021 東京都千代田区外神田2丁目16番2号
第2デューアイビル9階
TEL 03-6206-0846 FAX 03-5289-0890
URL <http://jlja.lin.gr.jp/cali/manage/>
E-mail jlja@jlja.jp

おらが故郷の経営自慢

家族と牛のしあわせを目指して

—家族経営の利点である、チームワークと各々のスキルを活かした卓越した繁殖肥育一貫経営—
農林水産大臣賞／牧舎みねむら
(肉用牛一貫経営・長野県東御市)

加藤 哲 宏

平成29年度全国優良畜産経営管理技術発表会で最優秀賞（農林水産大臣賞）を受賞した牧舎みねむらの経営を紹介します。

地域の概要



峯村誠太郎さんが経営する「牧舎みねむら」の所在する東御市は、長野県の東部に位置し、北は上信越高原国立公園の浅間連山を背にし、南は蓼科・八ヶ岳連峰の雄大な山なみに囲まれ、市の中心部を千曲川の清流が流れる豊かな風土と歴史に恵まれた美しい地域です。市の北部となる上信越高原国立公園の「湯の



峯村誠太郎さん・伊世さん(後列)と誠太郎さんの妹のちひろさん、母のこのみさん

(表1) 経営・活動の推移

年 次	作目構成	飼養頭（羽）数	飼料作付面積	経営・活動の内容
昭和57年3月				牛飼いにしたい一心で、上田市へUターン
昭和57年10月	肉用牛経営開始	乳用種雌2頭 肥育開始	自給飼料畑 2 ha	自宅庭先の牛舎で飼育開始
昭和58年		乳用種雌20頭肥育	〃	古い豚舎を借り、ホル雌飼育 古電柱を使った牛舎の建設開始
昭和59年		乳用種雌50頭肥育	〃	古電柱を使った牛舎完成（50頭規模）
昭和60年		乳用種雌50頭肥育 F1 40頭肥育 和牛 10頭肥育 繁殖用雌牛1頭導入	〃	牛舎を増築し、肥育100頭規模とするこの年から和牛一貫経営を目指す。
昭和62年		F ₁ 雌、F ₁ 去勢 肥育100頭規模	〃	20頭の繁殖牛舎完成。
平成3年9月 ～平成4年				工場の団地化により経営地を移転 上田市から東御市へ移転 肥育牛舎150頭規模、繁殖牛舎50頭規模 の施設を建築
平成5年	和牛一貫経営を 本格的に開始	和牛肥育150頭 繁殖雌牛50頭	自給飼料畑 3 ha	
平成7年		和牛肥育150頭 繁殖雌牛70頭	〃	繁殖部門規模拡大を図る
平成28年	現在に至る	和牛肥育160頭 繁殖雌牛85頭	自給飼料畑 5 ha	今後、繁殖和牛100頭に規模拡大をめざす。

丸高原」は、レンゲツツジの大群落、アヤメ、コマクサなどの高山植物の宝庫で観光の要所となっています。

雨が少なく日照時間が長い気候と粘土質の大地を利用した農業も盛んで、巨峰、クルミ（シナノグルミ）、白土馬鈴薯（白いも）など全国有数の農作物が地域の特産品となっています。

最近では、地域の風土がワイン生産の適地であることを活かし、新たなワイン産地としての振興も図られています。

市内には、乳牛が8戸で300頭、肉牛が4戸で950頭、豚が4戸で5500頭飼育されるなど畜産農家も少なくなく、牧舎みねむらのほかにも水田と酪農を複合した循環型農業への取り組みなどそれぞれの特色を活かした畜産経営が営まれています。



肥育牛舎



子牛舎

(表2) 経営実績(平成28年)

経営の概要	労働力員数（畜産・家族・構成員）		5.0人		
	2000hr換算）		0.4人		
	成雌牛平均飼養頭数		82.0頭		
	年間子牛分娩頭数		75頭		
	肥育牛平均飼養頭数（肉用種）		158.5頭		
収益性	年間肥育牛販売頭数（肉用種）		61頭		
	所得率		27.2%		
	成雌牛1頭当たり生産費用		668,346円		
生産性	肥育牛1頭当たり生産費用		345,769円		
	繁殖	成雌牛1頭当たり年間子牛分娩頭数		0.91頭	
		平均分娩間隔（56頭分）		12.1ヵ月	
	粗飼料	借入地依存率		80%	
	肥育（品種・肥育タイプ）	（黒毛和種雌若齢）	肥育開始時	日齢	365日
				体重	300kg
			出荷時	日齢	851日
			体重	750kg	
		平均肥育日数		486日	
		販売肥育牛1頭1日当たり増体重（DG）		0.93kg	
	販売肉牛1頭当たり販売価格		1,127,536円		
	（黒毛和種去勢若齢）	肥育開始時	日齢（月齢）	365日	
			体重	300kg	
		肥育牛1頭	出荷時	851日	
		当たり	出荷時生体重	750kg	
		平均肥育日数		496日	
		販売肥育牛1頭1日当たり増体重（DG）		0.93kg	
販売肉牛1頭当たり販売価格		1,167,412円			



には14産という牛もいます。

肥育素牛の外部導入は一切行わず、すべて自家育成で、肥育成績も牛枝肉格付A4等級以上が90%以上という高い肥育成績を維持しています。肥育素牛が80万円を超えるような情勢の中で、一貫経営を行うことで、安全性が高く効率的な肉牛経営を営んでいます。

【牛肉加工品の販売収入増加などによる収益性の向上】

肥育牛は月4頭出荷し、2頭は枝肉を買い戻して直売施設で精肉・加工品として自社で販売し、2頭は精肉店や焼肉店に販売しています。

経費、販売労力はかかっても地産地消を貫いており、直売施設の売り上げは、平成26年には323万円であったものが28年は3.3倍の1085万円となるなど、畜産経営に対する農場の姿勢、幅広い地域振興、農業活性化のための取り組みなどが地域内での農場の好感度アップにつながったことと、安定した品質の高さが地域の消費者に評価されたことに伴う結果であると考えられます。

【家族経営協定と農場HACCPへの取り組みで効率的な経営管理を実践】

労働力は誠太郎さんを含め家族5人(現在

経営・技術の特色等

【高い繁殖技術と優れた飼養管理で外部導入に頼らない安定的肥育素牛の確保】

「牧舎みねむら」では現在和牛繁殖牛80頭の一貫経営を行っています。経営主の誠太郎さんは、前経営主の父親が大病を患ったことから就農を決意。その後、平成23年に経営移譲を受けました。平成16年に家畜人工授精師および家畜体内受精卵移植の資格を取得し、平均分娩間隔12.1ヵ月と高い繁殖技術を有しています。繁殖牛は平均産次数8産という長命連産で、中

は妹が育児休暇中で4人体制)ですが、農場 HACCP に取り組み、各自が対等の立場で労働条件、経営方針等の決定を行うとともにそれぞれの担当業務を明確にし、効率的に畜産経営を管理しています。

平成28年11月に農場 HACCP 認証を取得し、バイオセキュリティの向上と PDCA サイクルによる作業工程の見直し・スキルアップの効果で、農場成績が向上するとともに、研修や地域活動にも積極的に参加し、そこで得られた人脈による経営効果も出ています。なお、経営主の妻が円滑に育児休暇を取得できたのも協定の効果です。

耕畜連携の活動

適正な水分調整と丁寧な切り返し作業により良質堆肥を生産しており、(一社)畜産環境整備機構の畜産環境技術研究所へ2年に1回、堆肥のサンプルを送り、成分分析を行っています。利用者のニーズにあった堆肥の生産を目指しており、湯の丸高原、菅平高原のレタス、キャベツ、白菜などの高原野菜生産農家に販売され、地域高原野菜の生産を支え

ています。また、近隣の果樹農家にブドウ、リンゴ、アスパラガスの生産用に堆肥を販売するほか、家庭菜園用としても好評を得ています。

さらに、堆肥は地域内の米生産にも不可欠で、米農家の稲わらと堆肥の交換により東京ドーム5個分以上に相当する面積の稲わらを確保しており、その量は1万4000tにも及びます。地元コシヒカリを中心とした稲わら給与は肉質向上にも一役かっています。

地域に対する貢献

【6次産業化による地域特産品販売】

誠太郎さんの希望で直売施設の建設、商品の試作などの準備を開始し、2011年調理師免許を持つ誠太郎さんの妹が経営に加わり、営業許可の取得に至り、本格的に製造・販売を開始することとなりました。

加工品は「きたやつハム(株)」に製造を委託しているビーフジャーキー、ビーフソーセージ、コンビーフ、埼玉県の業者に製造委託しているレトルトカレーなどで、農場入り口の直売場で販売していますがビーフカレーが特に人



販売している精肉・加工品



堆肥舎

気が高く、最近、市が力を入れ全国に向けプロモーションしているワインなどとともに地域のブランド特産品として消費者に好評を得ています。

また、精肉は市商工観光課がふるさと納税の返礼品としても取り扱っています。

さらに、地元果樹、野菜、ワインブドウ生産農家とともに「YO 農(ヨーノー)会」(生産者の会)を組織、地元レストランと連携し会員の生産物を使用した一流シェフの料理を提供するなど地元食材の発信にも取り組んでいます。

【食育、農業教育の実践による農業への理解醸成活動】

「牧舎みねむら」では、食育・農業教育にも力を入れています。地元コミュニティ・レストランに出店し、自家産和牛肉を使用した食事を提供し評価を得るとともに地場産食材の重要性をPRし食育活動を推進しています。

また、誠太郎さんの妹が有している保育士・調理師免許の資格を活かし、都会の小中学生の農業体験受け入れ、農家民宿の運営にも取り組み、食育と併せ農業・食糧への理解醸成活動に取り組んでいます。

【畜産女性の仲間づくり。地域農業者との仲間づくり】

誠太郎さんの母親は、地域内の畜産女性の仲間づくりにも積極的で、上田小県地区の畜産女性組織である「上小畜産女性ネット21」の立ち上げに参加。畜産物を材料にした商品

の開発による試食会、他農場視察研修会の実施などの交流活動・子育てなどに関する悩み相談等も含めた情報交換会により、それぞれの経営改善に役立てるとともに仲間の輪を拡大しています。

また、県レベルでも現在まで5年以上にわたり「長野県畜産会21世紀に羽ばたく畜産を担う女性のネットワーク委員会」の委員長として県下の畜産女性の代表を務め他の農業分野・行政とのネットワークづくりを含め各種事業に積極的に取り組んでいます。

誠太郎さんの妹も長野県の農業女性の会「NAGANO 農業女子」の一員として東京で開催されたトークイベントなどにも積極的に参加し、経営者本人も、地元野菜、果樹農家とともに「YO 農(ヨーノー)会」を組織し、地元産食材にこだわった料理の提供などを企画し情報発信と仲間づくりに余念がありません。

将来への方向性



6次化で開発した加工品販売の拡大、食育・農業教育への取り組み強化、各業界とのコラボによる地域に溶け込んだ畜産業の推進など牧舎みねむらの夢は尽きません。この夢の実現のためにも、繁殖・保育部門を中心とした施設整備を含め、規模拡大を検討しており、一層の組織力のアップ、対外信用力の向上、経営管理の徹底などを目指し経営の法人化も視野に入れています。

(筆者：長野県畜産会 総務振興課 課長)

畜産学習室

平成29年度確定申告対応

畜産経営者のための青色申告の手引き

改訂のポイント

森 剛 一

平成29年分の所得税および復興特別所得税の確定申告と納期限は平成30年3月15日(木)まで、申告書の受付けは2月16日(金)から行なわれます。振替納税を利用した場合の振替日は4月20日(金)です。確定申告書を提出する際は12桁のマイナンバーの記載と運転免許証など本人確認書類の提示(写しの添付)が必要となります。

中小企業投資促進税制の 上乗せ措置の廃止と 中小企業経営強化税制



平成29年度税制改正により、中小企業投資促進税制が、対象資産から器具備品を除外したうえで2年延長されました。中小企業投資促進税制では、160万円以上の機械装置などについて取得価額の30%の特別償却または7%の税額控除(所得・法人税額の20%が限度)を選択適用できます。一方、中小企業投資促進税制の上乗せ措置の生産性向上設備等にかかる即時償却(100%特別償却)は平成29年3月末をもって廃止になりました。

即時償却制度は中小企業経営強化税制として改組され、一定の規模以上の特定経営力向上設備等(生産等設備を構成する機械装置、工具、器具備品、建物附属設備及びソフト

ウェア)を取得・事業供用した場合に適用されます。対象者は中小企業等経営強化法の中小企業者等で、経営力向上計画について各事業分野の主務大臣の認定を受ける必要があります。なお、法人の場合株式会社などの会社は対象となりますが、農事組合法人は中小企業等経営強化法の中小企業者等に該当しないため、中小企業経営強化税制の対象となりません。

このほか、平成29年度税制改正では、商業・サービス業・農林水産業活性化税制の適用期限が2年延長されたうえ、特別控除の税額控除額について、中小企業投資促進税制、商業・サービス業・農林水産業活性化税制、中小企業経営強化税制の合計でその年分の事業所得の所得税額(法人はその事業年度の法人税額)の20%相当額が限度となりました。平成29年分の確定申告で活用できる農業関連の主な特別償却・特別控除は次ページの表の通りです。

青色申告のメリット



青色申告のメリットの主なものは、①青色申告特別控除、②青色専従者給与です。まず、青色申告特別控除のメリットは、そ

(表) 主な特別償却・特別控除制度

制度の名称	対象設備	特別償却限度額	特別控除	添付書類
中小企業等投資促進税制（措法10の3）	1台160万円以上の新品の機械装置、平成29年3月31日までに取得した1台120万円以上のインターネットに接続された新品のデジタル複合機等、合計額120万円以上の新品の電子計算機等の器具備品	取得価額×30%	○ 7%	
	平成29年3月31日までに取得した160万円以上の新品の機械装置で特定生産性向上設備等（下記）	即時償却	○ 10%	証明書
中小企業経営強化税制（措法10の5の3）	新品の1台160万円以上の機械装置、30万円以上の工具・器具備品、60万円以上の建物附属設備、70万円以上のソフトウェアで、販売開始から一定の期間内で最新モデルかつ旧モデル比で年平均生産性1%以上向上という生産性向上要件を満たすもの	取得価額全額	○ 7%（特定中小企業等 等は10%）	証明書（中央畜産会等 が発行）
生産性向上設備投資促進税制（旧・措法10の5の5）	平成29年3月31日までに取得した1台160万円以上の新品の機械装置、120万円以上の新品の建物・構築物、単品30万円以上かつ合計120万円以上の新品の工具・器具備品、単品60万円以上かつ合計120万円以上の新品の建物附属設備で一定のもののうち、最新モデルかつ旧モデル比で年平均生産性1%以上向上という生産性向上要件を満たすもの	取得価額×50%（建物・構築物は25%）	○ 4%（建物・構築物は2%）	
商業・サービス業・農林水産業活性化税制（措法10の5の2）	1台30万円以上の新品の器具備品 60万円以上の新品の建物付属設備	取得価額×30%	○ 7%	
中小企業者の少額減価償却資産の取得価額の必要経費算入の特例（措法28の2）	30万円未満の減価償却資産	取得価額全額（年300万円が限度）	—	

の分の課税所得が減って、所得税が少なくなることになります。一方、青色事業専従者給与のメリットは、専従者給与により家族内で所得を分散すると家族全体の所得に対する適用税率が下がるだけでなく、専従者が受け取った専従者給与は給与所得の収入金額として取り扱われ、給与収入の大きさに応じて給与所得控除が引けるため課税所得が減ることになります。

農業者の青色申告のメリットとして、収入保険制度に加入できることが加わりました。収入保険制度は、平成31年から始まるもので、

青色申告を行っている農業者（個人・法人）が対象となります。収入保険制度は、新たな農業経営のセーフティネットとして、農業経営者ごとの収入全体を見て総合的に対応する保険制度を目指すものですが、マルキン等の対象である肉用牛、肉用子牛、肉豚および鶏卵については、対象品目から除外されました。ただし、畜産経営でも酪農経営や養豚繁殖経営は加入できます。収入保険に加入する場合、収入保険制度が始まる平成31年分だけでなく、過去5年間の平均収入で計算する基準収入も対象収入とそれ以外に区分する必

要があるので、平成26年分以降の対象収入を把握できるよう準備をしておきたい。

肉用牛の売却による 農業所得の課税の特例



肉用牛の売却による農業所得の課税の特例の適用を受ける場合、申告書B第二表の○特例適用条文等欄に「措法25」と記入するほか、「肉用牛の売却による所得の税額計算書（兼確定申告書付表）」と一頭ごとの「肉用牛売却証明書」または「肉用子牛売却証明書」を添付します。平成28年分から「肉用牛の売却による所得の税額計算書」の様式が改訂され、確定申告書付表を兼ねることとなりました。これまでは肉用牛の収入金額の5%課税の適用を受ける場合の分離課税の税額を計算するためにこの計算書を使用してきましたが、今後は、収入金額の5%課税の特例の適用に

かわらず、肉用牛の売却による農業所得の課税の特例を受ける場合はすべて添付することになります。

セルフメディケーション税制



平成28年度税制改正により、セルフメディケーション税制が創設され、平成29年分から本人または本人と生計を一にする親族の特定一般用医薬品等購入費を支払った場合には、従来の医療費控除に代えて、一定の金額の所得控除（医療費控除）を受けることができます。特定一般用医薬品等購入費とは、医師によって処方される医薬品（医療用医薬品）から、ドラッグストアで購入できるOTC医薬品に転用された医薬品（スイッチOTC医薬品）の購入費をいいます。

（もり たけかず・森税務会計事務所 税理士）

参考図書のご案内

畜産経営者のための青色申告の手引き — 平成29年度確定申告対応 —

森 剛一・志渡 和男 共著

畜産経営の発展を図るためには、記帳に基づく経営管理の一層の改善および合理化が求められます。本書は、平成28年版の改訂版で、各種奨励金・補てん金、肉用牛免税や共済金・共済掛金等の経理処理といった最新の事業制度にも対応。畜産経営者・経営指導者必携の一冊です。

【主な内容】

- 第1章 青色申告の制度
- 第2章 畜産経営の簿記記帳実務
- 第3章 決算と確定申告
- 第4章 事業継承と法人化の税務

▼お問い合わせ先▼

公益社団法人 **中央畜産会**

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2
TEL 03-6206-0846 FAX 03-5289-0890
e-mail: book@jlja.jp



行政の窓

「平成28年度牛乳・肉用牛・肥育豚生産費」を公表

農林水産省大臣官房統計部

農林水産省大臣官房統計部は12月5日、平成28年度牛乳生産費、肉用牛生産費、肥育豚生産費を公表しました。

牛乳生産費



平成28年度の搾乳牛1頭当たり全算入生産費（全国）は73万8314円で、前年度に比べ0.2%増加した。これは、搾乳牛価格の上昇により乳牛償却費が増加したこと等による（表1）。

生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算乳量）全算入生産費は7787円で、前年度に比べ0.3%減少した。これは、1頭当たり搾乳量が増加したことによる。

肉用牛生産費



平成28年度の肉用牛生産費については、次の通りです。

- ① 子牛1頭当たり全算入生産費は60万4734円で、前年度に比べ2.4%増加した。

表1 牛乳の生産費（全国）

区 分	単位	平成27年度	28		対前年度 増 減 率
			実 数	構成割合	
搾乳牛1頭当たり				%	%
物 財 費	円	651,784	676,079	80.1	3.7
飼 料 費	〃	389,653	386,897	45.8	△0.7
乳 牛 償 却 費	〃	105,820	123,417	14.6	16.6
農 機 具 費	〃	28,362	32,847	3.9	15.8
獣医師料及び医薬品費	〃	27,251	28,560	3.4	4.8
労 働 費	〃	161,703	168,105	19.9	4.0
費 用 合 計	〃	813,487	844,184	100.0	3.8
生産費（副産物価額差引）	〃	696,833	696,829	—	0.0
支払利子・地代算入生産費	〃	706,265	705,722	—	△0.1
全 算 入 生 産 費	〃	736,480	738,314	—	0.2
生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算乳量） 全 算 入 生 産 費	円	7,812	7,787	—	△0.3
1経営体当たり搾乳牛飼養頭数	頭	53.2	54.0	—	1.5
1頭当たり搾乳量 （乳脂肪分3.5%換算乳量）	kg	9,428	9,478	—	0.5
1頭当たり投下労働時間	時間	104.40	105.71	—	1.3

これは、労働時間の増加により、労働費が増加したこと等による（表2）。

- ② 去勢若齢肥育和牛の1頭当たり全算入生産費は114万6901円で、前年度に比べ7.1%増加した。これは、もと牛の価格上昇により、もと畜費が増加したこと等による。

生体100kg当たり全算入生産費は14万7327円で、前年度に比べ5.8%増加した（表3）。

- ③ 乳用雄育成牛の全算入生産費は21万4440円で、前年度に比べ28.5%増加した。これは、もと牛の価格上昇により、もと畜費が増加したこと等による（表4）。

表2 子牛生産費

区 分	単位	平成27年度	28		対前年度 増 減 率
			実 数	構成割合	
子牛1頭当たり				%	%
物 財 費	円	377,010	377,890	67.3	0.2
うち飼 料 費	〃	215,489	219,716	39.2	2.0
繁殖雌牛償却費	〃	43,059	35,659	6.4	△17.2
獣医師料及び医薬品費	〃	22,447	24,160	4.3	7.6
種 付 料	〃	21,879	22,538	4.0	3.0
労 働 費	〃	172,642	183,290	32.7	2.1
費用合計	〃	549,652	561,180	100.0	1.0
生産費（副産物価額差引）	〃	523,072	533,118	—	1.9
支払利子・地代算入生産費	〃	533,249	544,237	—	2.1
資本利子・地代全額算入生産費	〃	590,340	604,734	—	2.4
1経営体当たり子牛販売頭数	頭	11.1	11.1	—	0.0
1頭当たり投下労働時間	時間	123.08	128.98	—	4.8

表3 去勢若齢肥育牛生産費

区 分	単位	平成27年度	28		対前年度 増 減 率
			実 数	構成割合	
肥育牛1頭当たり				%	%
物 財 費	円	982,100	1,054,763	93.0	7.4
うちもと畜費	〃	585,251	669,604	59.1	14.4
飼 料 費	〃	324,077	304,977	26.9	△5.9
建 物 費	〃	12,819	13,306	1.2	3.8
敷 料 費	〃	12,462	12,697	1.1	1.9
労 働 費	〃	76,862	79,134	7.0	3.0
費用合計	〃	1,058,962	1,133,897	100.0	7.1
生産費（副産物価額差引）	〃	1,048,101	1,122,968	—	7.1
支払利子・地代算入生産費	〃	1,060,780	1,137,278	—	7.2
資本利子・地代全額算入生産費	〃	1,070,751	1,146,901	—	7.1
生体100kg当たり全算入生産費	〃	139,285	147,327	—	5.8
1経営体当たり販売頭数	頭	39.4	39.3	—	△0.3
1頭当たり投下労働時間	時間	51.69	52.07	—	0.7

- ④ 乳用雄肥育牛乳用種の1頭当たり全算入生産費は50万5244円で、前年度に比べ8.1%増加した。これは、もと牛の価格上昇により、もと畜費が増加したこと等による（表5）。
- 生体100kg当たり全算入生産費は6万5641円で、前年度に比べ6.1%増加した。
- ⑤ 交雑種育成牛1頭当たり全算入生産費は33万5244円で、前年度に比べ14.8%増加した（表6）。これは、もと牛の価格上昇

表4 乳用雄育成牛生産費

区 分	単位	平成27年度	28		対前年度 増 減 率
			実 数	構成割合	
育 成 牛 1 頭 当 たり				%	%
物 財 費	円	155,561	203,139	95.6	30.6
うちも と 畜 費	//	58,911	112,465	52.9	90.9
飼 料 費	//	72,593	63,406	29.8	△12.7
獣医師及び医薬品費	//	6,571	8,797	4.1	33.9
敷 料 費	//	6,337	7,432	3.5	17.3
労 働 費	//	10,499	9,341	4.4	△11.0
費 用 合 計	//	166,060	212,480	100.0	28.0
生産費（副産物価額差引）	//	163,775	211,355	—	29.1
支払利子・地代算入生産費	//	164,723	212,049	—	28.7
資本利子・地代全額算入生産費	//	166,920	214,440	—	28.5
1 経営体当たり販売頭数	頭	298.8	468.5	—	56.8
1 頭当たり投下労働時間	時間	6.73	5.67	—	△15.8

表5 乳用雄肥育牛生産費

区 分	単位	平成27年度	28		対前年度 増 減 率
			実 数	構成割合	
肥 育 牛 1 頭 当 たり				%	%
物 財 費	円	439,522	475,757	94.9	8.2
うち飼 料 費	//	252,108	232,001	46.3	△8.0
も と 畜 費	//	150,371	204,183	40.7	35.8
敷 料 費	//	9,093	10,246	2.0	12.7
光熱水料及び動力費	//	7,622	7,471	1.5	△2.0
労 働 費	//	25,030	25,437	5.1	1.6
費 用 合 計	//	464,552	501,194	100.0	7.9
生産費（副産物価額差引）	//	459,816	496,838	—	8.1
支払利子・地代算入生産費	//	462,390	499,293	—	8.0
資本利子・地代全額算入生産費	//	467,265	505,244	—	8.1
生体100kg当たり全算入生産費	//	61,875	65,641	—	6.1
1 経営体当たり販売頭数	頭	125.4	114.4	—	△8.8
1 頭当たり投下労働時間	時間	16.49	16.65	—	1.0

により、もと畜費が増加したこと等による。

- ⑥ 交雑種肥育牛1頭当たり全算入生産費は76万9384円で、前年度に比べ2.3%増加した。これは、もと牛の価格上昇により、も

と畜費が増加したこと等による（表7）。

生体100kg当たり全算入生産費は9万4607円で、前年度に比べ2.7%増加した。

表6 交雑種育成牛生産費

区 分	単位	平成27年度	28		対前年度 増 減 率
			実 数	構成割合	
育 成 牛 1 頭 当 たり				%	%
物 財 費	円	274,350	318,871	95.7	16.2
うちも と 畜 費	〃	175,626	225,898	67.8	28.6
飼 料 費	〃	78,135	72,344	21.7	△7.4
敷 料 費	〃	6,336	5,412	1.6	△14.6
獣医師料及び医薬品費	〃	4,756	5,149	1.5	8.3
労 働 費	〃	14,609	14,445	4.3	△1.1
費 用 合 計	〃	288,959	333,316	100.0	15.4
生産費（副産物価額差引）	〃	287,216	330,831	—	15.2
支払利子・地代算入生産費	〃	288,054	331,835	—	15.2
資本利子・地代全額算入生産費	〃	291,994	335,244	—	14.8
1 経営体当たり販売頭数	頭	181.2	191.2	—	5.5
1 頭当たり投下労働時間	時間	10.31	9.88	—	△4.2

表7 交雑種肥育牛生産費

区 分	単位	平成27年度	28		対前年度 増 減 率
			実 数	構成割合	
肥 育 牛 1 頭 当 たり				%	%
物 財 費	円	703,108	715,192	94.8	1.7
うちも と 畜 費	〃	326,594	371,349	49.2	13.7
飼 料 費	〃	326,384	294,278	39.0	△9.8
建 物 費	〃	9,783	11,042	1.5	12.9
光熱水料及び動力費	〃	9,476	9,378	1.2	△1.0
労 働 費	〃	39,329	39,627	5.2	0.8
費 用 合 計	〃	742,437	754,819	100.0	1.7
生産費（副産物価額差引）	〃	736,147	749,721	—	1.8
支払利子・地代算入生産費	〃	741,818	754,850	—	1.8
資本利子・地代全額算入生産費	〃	752,089	769,384	—	2.3
生体100kg当たり全算入生産費	〃	92,145	94,607	—	2.7
1 経営体当たり販売頭数	頭	80.5	83.2	—	3.4
1 頭当たり投下労働時間	時間	25.79	25.36	—	△1.7

肥育豚生産費



平成28年度の肥育豚1頭当たり全算入生産費は3万2089円で、前年度に比べ5.1%減少し

た。これは、飼料価格の低下により、飼料費が減少したこと等による。

生体100kg当たり全算入生産費は2万8189円で、前年度に比べ5.7%減少した（表8）。

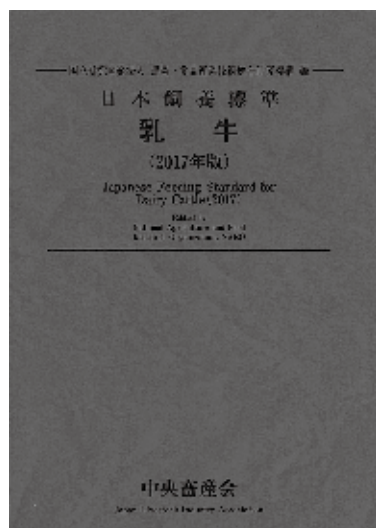
表8 肥育豚の生産費

区 分	単位	平成27年度	28		対前年度 増 減 率
			実 数	構成割合	
肥 育 豚 1 頭 当 たり				%	%
物 財 費	円	29,833	27,951	86.7	△6.3
うち飼 料 費	〃	22,177	20,255	62.8	△8.7
獣医師料及び医薬品費	〃	2,125	2,090	6.5	△1.6
光熱水料及び動力費	〃	1,526	1,509	4.7	△1.1
建 物 費	〃	1,339	1,255	3.9	△6.3
労 働 費	〃	4,062	4,280	13.3	5.4
費 用 合 計	〃	33,895	32,231	100.0	△4.9
生産費（副産物価額差引）	〃	33,064	31,353	—	△5.2
支払利子・地代算入生産費	〃	33,197	31,466	—	△5.2
全 算 入 生 産 費	〃	33,828	32,089	—	△5.1
生体100kg当たり全算入生産費	円	29,882	28,189	—	△5.7
1 経営体当たり販売頭数	頭	1,530.8	1,564.2	—	2.2
1 頭当たり投下労働時間	時間	2.64	2.72	—	3.0

参考図書のご案内

日本飼養標準・乳牛（2017年版）

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 編



2006年版の発行以来、11年ぶりの改訂となった本書は、昨今の酪農情勢を反映させ、泌乳持続性が高い乳用牛への改良の推進、生産コスト低減、飼料自給率向上の観点から、放牧の活用、耕畜連携等による稲WCS等の粗飼料、飼料用米の利用、未利用資源の利用推進、搾乳ロボットに対応した飼養管理技術などが記載され、より実情にあった内容となっています。

【主な内容】

- 第1章 栄養素の単位と要求量
- 第2章 養分要求量（Ⅰ）
- 第3章 養分要求量（Ⅱ）
- 第4章 養分要求量に影響する要因と飼養上注意すべき事項
- 第5章 飼料給与上注意すべき事項
- 第6章 泌乳曲線の平準化
- 第7章 群飼と給与飼料中の養分変動
- 第8章 飼養標準の使い方と注意すべき事項
- 第9章 養分要求量の算定式

公益 中央畜産会
社団法人

お問い合わせ先▶

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2
TEL 03-6206-0846 FAX 03-5289-0890
e-mail: book@jlja.jp

(独)農畜産業振興機構からのお知らせ**肉用牛肥育経営安定特別対策事業(牛マルキン)の補填金単価(概算払)について****[平成29年11月分]**

平成29年11月に販売された交付対象の契約肥育牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱第6の9および附則10の概算払の補填金単価について、表1および表2の通り公表しました。

また、平成29年11月に販売された生産者積立金の納付が免除された事業対象の契約肥育牛に適用する補填金単価については、表3の通り公表しました。

なお、補填金単価の確定値については、平成30年2月上旬に公表する予定です。

(表1) 補填金単価の算定(全国)

単位：円/頭

区 分	肉専用種(地域算定県を除く)	交 雑 種	乳 用 種
粗収益 (A)	1,278,570	666,568	440,975
生産コスト (B)	1,204,408	741,668	470,461
差 額 (C) = (A) - (B)	74,162	△ 75,100	△ 29,486
暫定補填金単価 (D) = (C) × 0.8	—	60,000	23,500
補填金単価(概算払) (D) - 4,000	—	56,000	19,500

注：平成26年4月分から、消費税抜きで算定しています。
100円未満切り捨て

(表2) 補填金単価の算定(地域算定県・肉専用種)※

単位：円/頭

岩手県(日本短角種)	広 島 県	福 岡 県	佐 賀 県	長 崎 県
—	5,000	5,200	—	5,900
熊 本 県	大 分 県	宮 崎 県	鹿 児 島 県	沖 縄 県
—	28,100	3,900	—	—

注：各県の算定結果です。

(表3) 補填金単価(概算払)(生産者積立金の納付が免除された事業対象の契約肥育牛)

単位：円/頭

肉専用種(地域算定県を除く)	交 雑 種	乳 用 種
—	42,000	14,600

注：補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。

あいであ & アイデア

もみ米サイレージの水分率安定と長期保管方法 ①

真室川町農業協同組合 丹 康之

はじめに

平成26年産までのもみ米サイレージは、長期保存においてもカビの発生や変質の心配がない35%以上の水分率に調整していましたが、フレコン容器の底部に水分が溜まってしまうのが欠点でした。この水分の溜まった部分は、下痢の誘発などが心配されるため子牛への給与は控えられていました。一方耕種農家では作付け面積の拡大志向が年々高まり、さらなる需要拡大が必要となったため改善策を検討しました。

水分率30%の加工調整を試験的に実施

まず、製品水分率30%の加工調整を試験的に行いました。6ヵ月後に開封して上部と底部の水分率の差を比較すると1%未満に抑えられていましたが、2つに1つの割合でフレコン上部とそれに触れる内袋にカビの発生が確認され、長期保存に課題が残りました。このため、長期保存においてもカビ発生を防止する改善策を検討しました。

※表面に白カビ



(写真1) 発生したカビ

※内袋に青カビ



試作製品の試験

試験内容	フレコン上部にカビ発生を抑制するものを被覆する方法で試験を実施
実施日	平成27年8月11日～13日
被覆資材	笹の葉3kg、発酵TMR3kg、乳酸菌混合飼料3kgの3種類
設定水分	25%と30%をそれぞれフレコン5個ずつ、計30個
試験材料	平成26年産乾燥もみ米

加工調整日より5日目～7日目の発酵状況では、乳酸菌混合試料添加水分30%調整の5本が勢いよく炭酸ガスが発生しているのが確認できましたが、発酵TMRと笹の葉は加工日の翌日と膨らみが変わりませんでした。その後、最終的には笹の葉と発酵TMR区の被覆部が、吸湿から腐敗してしまい製品はもみ米の糊化したデンプンが老化により固まるといった事態となりました。また、水分調整25%区ではすべての被覆資材において発酵が進まずカビが発生して失敗となりました。

試作製品は失敗となりましたが、発酵の抑制が確認できたため、発酵終了から限定的な利用とすることで2次発酵や変質防止効果を期待できると考え、水分調整の下限値を30%とし、開封口には発酵TMRを被覆することになりました(笹の葉は採集する労力が掛かるので採用を見送りました)。

新製品は利用者から好評で、全利用者において利用数量が増加する成果となりました。



(写真2) 試作試験○で囲んだ5個だけが膨らんでいる。



(写真3) 糊化したデンプンが老化により固まったもみ米。
フォークで碎かないと給与不可

発酵調製後の発酵TMR被覆工程

作業の工程は、以下の通り作業員4人がそれぞれ分担して作業を行います。

- ①開封担当・・・発酵ガスが充満しているSGSの梱包をほどき、発酵TMRを表面に万遍なく被覆できるようにフレコンと内袋を裏返ししていきます。
- ②発酵TMR担当・・・発酵TMR担当は発酵TMR 3kgずつ容器に分け、開封したもみSGSの表面に被覆していきます。
- ③脱気担当・・・発酵TMRを被覆したもみSGSを再脱気します。
- ④再梱包担当・・・脱気担当に随伴して、再梱包をします。

※一日における作業量は、120個です。



(写真4) 開封担当



(写真5) 発酵TMR担当



(写真6) 脱気担当



(写真7) 再脱気担当



(写真8) 完了

長期保管場所におけるネズミ、鳥獣対策

ネズミは牧草サイレージや稲わらサイレージには加害しないことから、牧草サイレージと稲わらサイレージを土台にして、その上にもみ米サイレージを置くようにします。



(写真9) ロールサイレージ土台写真

人の作業動線内に保管する場合は、カラスが近づきにくいいため被害の心配は少ないですが、保管場所が離れている場合は、ネズミ対策のほか、鳥獣対策も必要です。特に野生生物に餌として一度認識されると食害のリスクが高まります。そこで牧草サイレージや稲わらサイレージを使って防護壁を造り、もみ米サイレージを隠します。また、上部には寒冷紗を被覆します。それでも上部からの被害を心配する場合はキュウリ栽培用のネット等を張れば万全です。

近くまでカラスが接近しても被害はありませんでした。またネズミ等の侵入を防ぐため、なるべく壁を厚くするとネズミの加害も防御できます(土台と防護壁を両方設置するとラップサイレージの必要数が膨大となります)。



(写真10) ラップサイレージの壁に沿ってSGSフレコンを積み上げる



(写真11) もう一方も積み込んだSGSに沿ってロールの壁を設置して完了

※次号では作業性に配慮した水分調整方法と加水率の設定方法を紹介します。

(筆者：真室川農業協同組合 営農販売課 課長補佐)

あいであ & アイデア

12月の牛肉市況

資料：東京畜産情報センター「畜産物市況情報」以下同。
(単位：円/kg、頭、%)

	東 京 市 場																			
	和牛去勢 A										和牛去勢 B									
	取引価格					取引頭数					取引価格					取引頭数				
	5	4	3	平均	5	4	3	計		5	4	3	2	平均	5	4	3	2	計	
1 金	2909	2649	2399	2758	144	93	24	267		2857	2400	2115	—	2353	1	2	3	—	6	
2 土	2343	2511	—	2462	2	5	—	7		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 月	2928	2575	2408	2740	61	46	15	122		—	—	—	1892	1892	—	—	—	1	1	
5 火	2913	2717	2471	2718	104	125	56	298		2686	2321	2331	1511	2334	1	1	2	1	5	
6 水	2983	2707	2453	2780	118	107	42	272		2427	2436	2366	1632	2148	1	4	2	4	11	
7 木	3004	2727	2404	2791	109	114	34	263		—	2469	2265	—	2327	—	3	7	—	10	
8 金	2945	2741	2433	2781	121	114	37	277		—	2407	2067	—	2277	—	5	3	—	8	
9 土	2950	2698	2420	2713	68	85	38	195		—	2151	2072	—	2110	—	2	2	—	4	
1～10日 計・平均	2946	2699	2434	2756	727	689	246	1701		2657	2389	2207	1655	2250	3	17	19	6	45	
11 月	2956	2744	2512	2789	50	49	13	116		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
12 火	3006	2734	2469	2821	113	104	29	251		—	2492	1976	1792	2166	—	5	4	3	12	
13 水	2970	2689	2477	2775	106	103	34	247		—	2475	2390	—	2450	—	2	1	—	3	
14 木	2935	2687	2453	2730	99	130	49	281		—	2480	2259	1729	2328	—	5	6	1	12	
15 金	2937	2690	2480	2763	128	85	39	261		2577	2645	2257	2102	2380	1	3	3	2	9	
16 土	2923	2768	2611	2811	4	2	2	8		—	—	—	594	594	—	—	—	2	2	
18 月	2870	2686	2521	2735	39	38	17	94		—	2555	2214	1490	2270	—	2	3	1	6	
19 火	2941	2765	2565	2813	87	100	25	213		2793	2399	—	1722	2390	1	3	—	1	5	
20 水	3003	2767	2542	2823	95	122	34	253		2834	2603	2287	1723	2451	2	5	3	2	12	
10～20日 計・平均	2959	2722	2496	2783	721	733	242	1724		2760	2523	2206	1596	2277	4	25	20	12	61	
21 木	2871	2710	2459	2717	99	85	42	232		—	2651	2215	2037	2232	—	1	5	2	8	
22 金	2836	2606	2390	2635	82	98	52	238		—	2395	2183	1539	2282	—	8	5	1	14	
23 土	2806	2596	2361	2557	30	77	31	146		—	2493	2074	1744	2166	—	5	3	4	12	
25 月	2799	2558	2269	2572	28	36	11	79		—	2484	—	1621	2130	—	1	—	1	2	
26 火	2759	2464	2227	2520	77	104	26	214		2381	2065	2007	1380	1965	2	1	3	2	8	
27 水	2746	2395	2142	2430	28	22	12	66		—	—	—	1620	1620	—	—	—	1	1	
28 木	2640	2308	2077	2344	44	75	37	159		—	2087	1621	1367	1729	—	2	1	2	5	
20～31日 計・平均	2796	2535	2304	2563	388	497	211	1134		2381	2389	2109	1640	2121	2	18	17	13	50	
12月 計・平均	2919	2665	2416	2718	1836	1919	699	4559		2641	2445	2177	1626	2219	9	60	56	31	156	
前月比 12-11月	87	149	214	117	140	372	113	667		150	189	259	230	139	▲9	▲1	6	14	9	
12/11月	103	106	110	104	108	124	119	117		106	108	114	116	107	50	98	112	182	106	

※全国の9中央食肉卸売市場および19地方肉卸売市場の取引実績(市場別、品種別、規格別頭数、価格)は、畜産情報ネットワーク(LIN)の参加団体である(社)日本食肉市場卸売協会のホームページ(<http://www.jmma.or.jp/i/>)からダウンロードできます。また、携帯電話からも市場速報をみることができます。(<http://www.jmma.or.jp/i/>)。NTT DoCoMo iモード/au EZweb/softbankに対応しています。

	大 阪 市 場																			
	和牛去勢 A										和牛去勢 B									
	取引価格					取引頭数					取引価格					取引頭数				
	5	4	3	平均	5	4	3	計		5	4	3	2	平均	5	4	3	2	計	
1 金	3030	2711	2261	2816	27	26	5	59		2770	2521	2358	—	2516	1	7	2	—	10	
2 土	2812	2596	2293	2493	1	2	3	6		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 月	2815	2634	2277	2686	16	15	3	34		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5 火	3026	2572	2311	2720	43	36	12	95		—	2408	2286	1080	1936	—	2	2	2	6	
6 水	3022	2650	2402	2736	30	37	17	84		—	2443	2363	1983	2297	—	1	3	1	5	
7 木	3177	2654	2378	2817	20	29	7	56		—	—	2253	—	2253	—	—	2	—	2	
8 金	2920	2700	2358	2664	18	24	12	58		2791	2563	—	—	2674	1	1	—	—	2	
9 土	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1～10日 計・平均	3010	2648	2348	2737	155	169	59	392		2781	2497	2320	1381	2325	2	11	9	3	25	
11 月	3039	2692	—	2925	8	4	—	12		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12 火	3181	2799	2507	2874	19	23	11	54		—	2663	2038	2237	2238	—	1	2	1	4	
13 水	3173	2779	2556	2907	28	35	10	73		—	2660	1886	—	2566	—	4	1	—	5	
14 木	2940	2762	2470	2792	19	13	7	40		—	—	2340	—	2340	—	—	2	—	2	
15 金	3347	2791	2260	3154	35	17	1	53		—	2681	2485	—	2631	—	3	1	—	4	
16 土	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18 月	—	2577	2419	2488	—	2	2	4		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19 火	2900	2671	2576	2712	11	30	4	46		—	2552	—	2168	2381	—	1	—	1	2	
20 水	2925	2659	2480	2683	10	28	8	47		2738	2593	2584	—	2618	1	4	1	—	6	
10～20日 計・平均	3137	2734	2504	2864	130	152	43	329		2738	2636	2244	2203	2498	1	13	7	2	23	
21 木	2820	2635	2465	2721	4	2	1	7		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 金	2959	2797	2549	2746	2	10	5	17		—	2667	—	1312	1954	—	1	—	1	2	
23 土	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25 月	—	2863	—	2863	—	1	—	1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 火	—	2723	—	2723	—	4	—	4		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27 水	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28 木	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～31日 計・平均	2866	2764	2535	2741	6	17	6	29		—	2667	—	1312	1954	—	1	—	1	2	
12 月 計・平均	3064	2693	2420	2793	291	338	108	750		2766	2576	2287	1643	2390	3	25	16	6	50	
前月比 12-11月	176	244	312	199	24	59	37	123		276	332	341	5	265	1	1	6	2	10	
12/11月	106	110	115	108	109	121	152	120		111	115	118	100	112	150	104	160	150	125	

	東京市場																	
	乳用牛去勢B								乳用牛去勢C		F ₁ (交雑)去勢B							
	取引価格				取引頭数				取引価格	取引頭数	取引価格				取引頭数			
	4	3	2	平均	4	3	2	計	平均	計	4	3	2	平均	4	3	2	計
1 金	—	—	1015	1015	—	—	3	3	626	1	1780	1501	1218	1476	14	30	20	64
2 土	—	—	977	977	—	—	2	2	—	—	—	1361	1131	1237	—	6	8	14
4 月	—	—	1085	1085	—	—	3	3	—	—	1712	1448	1164	1453	10	22	10	42
5 火	—	—	1104	1104	—	—	2	2	1091	1	1619	1601	1180	1449	8	27	21	56
6 水	—	—	1039	1039	—	—	4	4	1004	5	1783	1561	1299	1517	14	47	28	89
7 木	—	1117	—	1117	—	1	—	1	—	—	1831	1602	1312	1593	22	46	25	94
8 金	—	—	1052	1052	—	—	2	2	735	8	1804	1470	1245	1419	15	38	47	100
9 土	—	—	1059	1059	—	—	8	8	1027	8	1782	1556	1244	1429	7	30	35	72
1～10日 計・平均	—	1117	1050	1052	—	1	24	25	906	23	1775	1536	1243	1476	90	246	194	531
11 月	—	—	1092	1092	—	—	2	2	1086	2	1792	1598	1244	1490	8	17	19	44
12 火	—	—	1088	1088	—	—	1	1	1087	3	1915	1627	1301	1553	3	31	14	48
13 水	—	—	1035	1035	—	—	7	7	861	5	1871	1610	1349	1563	15	47	36	98
14 木	—	—	918	918	—	—	2	2	805	5	1837	1571	1294	1544	27	49	44	122
15 金	—	—	1060	1060	—	—	1	1	994	3	1859	1563	1257	1449	6	33	35	74
16 土	—	—	—	—	—	—	—	—	810	1	—	1385	324	924	—	1	1	2
18 月	—	—	1160	1048	—	—	3	4	1078	3	1851	1655	1338	1664	20	22	16	60
19 火	—	—	1083	1083	—	—	2	2	1062	1	1846	1631	1209	1540	11	35	21	67
20 水	—	—	1060	1060	—	—	2	2	—	—	1759	1635	1265	1490	10	37	38	85
10～20日 計・平均	—	—	1059	1042	—	—	20	21	950	23	1838	1607	1279	1534	100	272	224	600
21 木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1833	1559	1269	1507	12	35	26	73
22 金	—	—	—	—	—	—	—	—	704	3	1897	1605	1278	1522	8	32	23	63
23 土	—	—	1022	1022	—	—	7	7	990	5	1854	1635	1274	1531	4	24	15	43
25 月	—	—	1094	1094	—	—	4	4	834	2	1771	1530	1302	1501	7	18	13	38
26 火	—	—	1256	1256	—	—	4	4	—	—	1693	1591	1103	1456	8	34	20	62
27 水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1621	1345	1056	1262	4	28	19	51
28 木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1646	1368	1109	1277	2	22	17	41
20～31日 計・平均	—	—	1104	1104	—	—	15	15	873	10	1785	1526	1199	1444	45	193	133	371
12 月 計・平均	—	1117	1067	1062	—	1	59	61	918	56	1804	1561	1247	1491	235	711	551	1502
前月比 12-11月	—	81	49	43	—	▲1	▲6	▲6	▲19	▲4	138	135	59	104	▲9	▲20	7	▲20
12/11月	—	108	105	104	—	50	91	91	98	93	108	109	105	107	96	97	101	99

	大 阪 市 場																	
	乳用牛去勢 B								乳用牛去勢C		F ₁ (交雑)去勢 B							
	取引価格				取引頭数				取引 価格	取引 頭数	取引価格				取引頭数			
	4	3	2	平均	4	3	2	計	平均	計	4	3	2	平均	4	3	2	計
1 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1882	1651	1370	1632	4	17	5	26
2 土	—	—	—	—	—	—	—	—	965	6	1923	1581	1292	1547	1	8	3	12
4 月	—	—	—	—	—	—	—	—	788	2	1814	1598	1277	1490	2	25	17	44
5 火	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1486	1205	1367	—	11	8	19
6 水	—	—	—	—	—	—	—	—	1088	1	1875	1697	1385	1621	2	17	8	27
7 木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1931	1783	1288	1631	2	7	5	14
8 金	—	—	1126	1126	—	—	1	1	1101	1	2101	1720	1390	1679	6	23	13	42
9 土	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1～10日 計・平均	—	—	1126	1126	—	—	1	1	956	10	1959	1647	1316	1574	17	108	59	184
11 月	—	—	—	—	—	—	—	—	1083	2	1892	1650	1261	1565	4	24	13	41
12 火	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2041	1739	1375	1667	3	20	10	33
13 水	—	—	—	—	—	—	—	—	1044	2	2053	1758	1266	1562	1	9	8	18
14 木	—	—	1113	1113	—	—	1	1	1115	1	1881	1686	1355	1634	8	14	10	32
15 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1797	1574	1187	1441	5	18	18	41
16 土	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1893	1611	1273	1635	5	11	3	19
19 火	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1789	1200	1447	—	5	7	12
20 水	—	—	—	—	—	—	—	—	756	1	1902	1811	1277	1632	5	14	12	31
10～20日 計・平均	—	—	1113	1113	—	—	1	1	1021	6	1895	1688	1268	1576	31	115	81	227
21 木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2020	1718	1426	1642	1	16	8	25
22 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1933	1677	1447	1654	5	11	9	25
23 土	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25 月	—	—	—	107	—	—	—	1	—	—	—	1620	1486	1576	—	9	5	14
26 火	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1729	1735	1620	1718	1	5	1	7
27 水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28 木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～31日 計・平均	—	—	—	107	—	—	—	1	—	—	1916	1688	1456	1641	7	41	23	71
12 月 計・平均	—	—	1120	782	—	—	2	3	980	16	1918	1671	1312	1585	55	264	163	482
前月比 12-11月	—	—	224	▲40	—	—	1	1	▲23	▲4	113	79	44	67	▲3	58	26	81
12/11月	—	—	125	95	—	—	200	150	99	75	106	105	103	104	95	128	119	120

12月の豚肉市況

(単位：円/kg、頭、%)

	仙 台 市 場			さいたま市場			東 京 市 場			横 浜 市 場		
	取引価格			取引価格			取引価格			取引価格		
	上 平均 省令	上 計 省令		上 平均 省令	上 計 省令		上 平均 省令	上 計 省令		上 平均 省令	上 計 省令	
1金	574 523 574	18 50 18		577 513 577	56 279 56		606 576 606	392 947 392		603 569 603	226 562 226	
2土	— — —	— — —		— — —	— — —		— 435 —	— 58 —		— — —	— — —	
4月	584 517 584	9 65 9		589 558 589	47 183 47		604 537 604	291 828 291		613 579 613	221 533 221	
5火	572 549 572	39 120 39		588 524 588	53 220 53		605 556 605	295 812 295		610 578 610	284 724 284	
6水	569 497 569	41 176 41		569 516 569	36 137 36		602 539 602	230 782 230		618 585 618	210 525 210	
7木	571 459 571	9 63 9		558 506 558	53 192 53		595 538 595	279 762 280		592 572 592	237 527 237	
8金	568 538 568	39 109 39		566 513 567	72 285 74		590 551 590	309 792 309		590 552 590	174 526 174	
9土	— — —	— — —		— — —	— — —		561 500 561	229 806 229		573 538 573	192 539 192	
1~10日 計・平均	571 516 571	155 583 155		574 521 574	317 1296 319		596 542 596	2025 5787 2026		601 568 601	1544 3936 1544	
11月	568 466 568	7 60 7		537 495 537	69 219 69		541 522 541	393 976 393		564 542 564	264 537 265	
12火	538 507 538	30 131 30		547 489 548	41 210 42		552 516 552	309 762 309		549 529 549	249 541 249	
13水	565 530 565	39 89 39		544 477 544	13 155 13		548 504 548	278 816 278		557 532 557	186 558 186	
14木	567 484 567	7 46 7		532 494 532	60 196 61		544 493 544	282 761 282		553 535 553	259 539 259	
15金	583 505 583	10 71 10		571 532 571	61 256 61		574 553 575	384 897 386		561 532 561	246 628 246	
16土	— — —	— — —		— — —	— — —		— 428 —	— 57 —		594 572 594	236 533 236	
18月	590 530 590	7 68 7		587 553 586	90 309 91		627 576 627	340 846 340		630 619 630	253 606 253	
19火	617 580 617	21 94 21		627 558 627	65 226 65		654 613 654	348 831 348		640 586 640	205 708 205	
20水	621 588 621	22 73 22		567 535 567	71 250 71		635 568 635	276 773 276		660 633 660	266 565 266	
10~20日 計・平均	578 527 578	143 632 143		568 521 568	470 1821 473		584 543 585	2610 6719 2612		590 566 590	2164 5215 2165	
21木	607 552 607	24 104 24		564 531 564	73 301 73		622 551 622	301 809 301		612 582 612	248 563 248	
22金	585 556 585	64 107 64		575 515 575	94 376 94		606 565 606	372 932 372		613 572 613	241 589 243	
23土	— — —	— — —		— — —	— — —		560 489 560	311 931 311		564 528 564	184 576 184	
25月	570 537 570	30 88 30		524 482 524	46 212 46		495 460 495	457 1092 457		560 521 560	275 581 275	
26火	516 489 516	13 47 13		504 462 504	56 255 56		489 456 489	400 1027 401		510 470 510	251 626 251	
27水	475 451 475	61 210 61		455 392 455	58 286 58		475 451 475	436 1113 436		488 457 488	264 644 264	
28木	433 399 433	64 256 64		474 429 474	89 396 89		535 477 535	435 894 435		486 479 486	260 858 260	
20~31日 計・平均	518 473 518	256 812 256		520 468 520	416 1826 416		534 489 534	2712 6798 2713		546 512 546	1723 4437 1725	
12月 計・平均	548 502 548	554 2027 554		553 501 553	1203 4943 1208		569 524 569	7347 19304 7351		579 549 579	5431 13588 5434	
前月比 12-11月	7 ▲ 2 6	▲ 128 ▲ 314 ▲ 135		▲ 17 ▲ 19 ▲ 19	48 607 45		▲ 12 ▲ 19 ▲ 12	380 1423 381		▲ 2 ▲ 3 ▲ 2	668 1075 665	
12-11月	101 100 101	81 87 80		97 96 97	104 114 104		98 97 98	105 108 105		100 99 100	114 109 114	

	名古屋市場			大阪市場			広島市場			福岡市場		
	取引価格			取引頭数			取引価格			取引価格		
	上	平均	省令	上	計	省令	上	平均	省令	上	計	省令
1金	598	544	598	386	867	386	584	467	584	42	183	42
2土	—	—	—	—	—	—	602	485	602	43	174	44
4月	600	566	600	430	909	430	614	547	614	42	163	42
5火	601	553	601	300	800	300	648	589	659	37	178	38
6水	598	561	598	399	919	399	609	525	609	88	235	88
7木	588	543	588	361	949	361	619	587	619	73	267	73
8金	582	539	582	462	989	462	598	474	598	64	181	64
9土	582	552	582	341	649	341	—	—	—	—	—	—
1～10日 計・平均	593	551	593	2679	6082	2679	610	528	611	389	1381	391
11月	560	512	560	253	562	253	544	515	544	120	414	120
12火	544	506	544	404	1000	404	605	486	614	52	279	53
13水	543	505	543	332	861	332	508	462	508	102	284	102
14木	532	496	532	438	890	438	573	562	573	70	212	70
15金	531	480	531	344	876	344	524	459	524	99	294	99
16土	552	525	552	324	693	324	—	—	—	—	—	—
18月	563	536	563	233	665	233	544	512	544	63	169	63
19火	607	558	607	347	948	347	653	520	653	65	277	65
20水	626	564	626	344	986	344	555	526	555	51	172	51
10～20日 計・平均	561	521	561	3019	7481	3019	556	502	556	622	2101	623
21木	601	549	601	391	980	391	589	570	589	86	288	88
22金	576	522	576	456	983	456	493	424	493	124	350	124
23土	569	531	569	468	1000	468	—	—	—	565	527	565
25月	535	485	535	399	984	399	487	447	488	156	423	158
26火	481	442	481	457	999	457	504	466	505	82	341	85
27水	461	429	461	428	1001	428	497	436	497	118	272	119
28木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	503	488	503
20～31日 計・平均	537	493	537	2599	5947	2599	508	465	509	566	1674	574
12月 計・平均	563	522	563	8297	19510	8297	552	497	553	1577	5156	1588
前月比 12-11月	▲3	▲11	▲3	▲477	▲823	▲477	▲18	▲12	▲19	13	132	16
12-11月	99	98	99	95	96	95	97	98	97	101	103	101

11月の子牛市況

資料：(独)農畜産業振興機構「月別肉用子牛取引情報」
(単位：頭、%、円、月、kg)

都府県市場			取引頭数			対前 月比	1頭当たり価格(100円)			1 kg 価格	対前 月比	平均 日齢	平均 体重
			計	めす	おす		平均	めす	おす				
和 子 牛	北海道 南北海道		1142	524	618	107	7627	7111	8065	2481	104	298	307
	北海道 ホ十勝		1172	537	635	98	7435	6874	7908	2428	100	287	306
	青 森 青 森		370	170	200	125	7189	6852	7475	2420	101	298	297
	岩 手 岩手中央		917	420	497	104	7543	6874	8107	2608	104	290	289
	岩 手 県 南		453	238	215	99	7406	6694	8195	2515	99	294	294
	宮 城 みやぎ		959	550	409	101	7425	6829	8226	2470	105	297	301
	秋 田 総 合		229	127	102	91	7837	7194	8638	2592	102	297	302
	福 島 福 島		699	311	388	111	7984	7667	8238	2751	104	280	290
	栃 木 矢 板		574	276	298	104	8128	7537	8675	2759	106	289	295
	群 馬 渋 川		216	94	122	114	7209	6578	7695	2438	103	287	296
	兵 庫 但 馬		321	135	186	112	9372	9036	9616	3998	100	257	234
	兵 庫 淡 路		374	152	222	100	9661	9237	9952	3796	102	274	255
	島 根 中 央		259	114	145	106	7339	6670	7865	2586	107	271	284
	広 島 三 次		211	82	129	81	6471	5828	6879	2241	88	273	289
	佐 賀 中 央		570	268	302	105	7426	6633	8129	2707	105	277	274
	長 崎 平戸口		604	280	324	—	8147	7291	8888	2761	—	284	295
	熊 本 熊本県		882	440	442	88	7148	6544	7750	2468	100	292	290
	宮 崎 都 城		986	466	520	97	7743	7149	8276	2696	103	282	287
	宮 崎 小 林		1252	607	645	100	7169	6486	7811	2487	101	278	288
	鹿児島 曾 於		1090	540	550	85	8324	7673	8963	2843	108	281	293
	鹿児島 肝 属		940	460	480	91	8216	7638	8771	2871	107	272	286
合計・平均			14220	6791	7429	103	7723	7113	8282	2665	103	285	291
乳 子 牛	北海道 北 見		546	101	445	90	2535	2273	2594	872	105	231	291
	青 森 青 森		1	1	—	—	3413	3413	—	2942	—	114	116
	群 馬 前 橋		8	—	8	114	1123	—	1123	493	160	215	228
	千 葉 千 葉		5	4	1	56	3516	4147	994	1546	132	247	227
	岐 阜 中 央		2	2	—	50	2403	2403	—	1448	260	175	166
	愛 知 豊 橋		13	1	12	186	2425	1080	2537	764	118	249	317
	岡 山 全 農		2	—	2	15	270	—	270	209	26	156	129
	広 島 三 次		53	6	47	118	1805	1690	1819	729	99	200	248
	徳 島 徳 島		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	熊 本 熊本県		13	6	7	108	2523	2821	2268	1019	101	215	248
	宮 崎 児 湯		3	3	—	150	5400	5400	—	1820	607	367	297
	合計・平均		646	124	522	92	2470	2409	2484	869	106	228	285